

施策番号	1903		
施策名	子どもを共に育む気運づくり		
概要	子どもの豊かな学びと育ちを各家庭はもとより、市民ぐるみ・地域ぐるみで支えるため、「子どもを共に育む京都市民憲章」が、子どもを主体とした大人の行動規範として定着することを目指す。		
担当局・部室	教育委員会・生涯学習部	共管局・部室	
上位政策	19 生涯学習		
施策に関する主な分野別計画等	京都市未来子どもプラン		

### 施策の評価

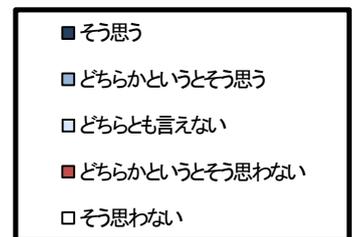
#### 1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 子どもを共に育む親支援プログラム参加者数(人)	-	-	-	3,382	3,000	112.7%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	26 5.2%	140 28.1%	229 46.0%	75 15.1%	28 5.6%	498	c	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							c	



### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 子どもを共に育む社会になっていると市民実感されることにより初めて施策目的が達成される施策のため市民の実感に重みを付ける方が適切であるため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価は、22年度から全市で本格実施した子どもを共に育む親支援プログラムが順調に参加者を集めている。 ・市民実感評価がc評価となっているが、この要因として、家庭や地域の教育力の低下の下、子育ての不安や孤立感、児童虐待や児童ポルノ、インターネットの不適切利用等、子どもを取り巻く環境が依然と厳しい状況にあることが挙げられる。						年度	-

#### 今後の方向性の検討

#### ＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	PTA研修・啓発	63,306	63,889	良い	教育委員会
2	成人式(大風流・成人式)	35,371	34,085	かなり良い	教育委員会
3	放課後まなび教室推進事業	238,798	344,527	かなり良い	教育委員会
4	人づくり21世紀委員会	35,700	32,863	良い	教育委員会
5	家庭教育・子育て支援の充実	65,674	74,236	かなり良い	教育委員会
6	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館	304,476	300,820	良い	教育委員会
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### ＜今後の方向性＞

・「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の施行(23年4月)を機に、各分野で実践行動を一層広げ、子育て環境の改善を図っていく。

施策名	1903	子どもを共に育む気運づくり				
指標名	子どもを共に育む親支援プログラム参加者数（人）					
担当課	生涯学習部家庭地域教育支援担当		連絡先	251-0456		
<b>1 指標の説明</b>						
学校・幼稚園・保育所等の場で、地域の支援者の協力も得て、親同士が親としての心構えや必要な知識・技術を学び合い、子育ての不安や孤立感を軽減させる「親支援プログラム（ほっこり子育てひろば）」の参加者数						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
市民ぐるみで子どもたちを育むまちづくりに向けて、地域で子育てを学びあう場への親の参加状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値 年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
数値	-	3,382	-	数値	根拠	
				3,000	平成32年度の目標達成のために当年度に達成すべき数値	
					達成度	
					112.7%	
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		10,000人	32年度			
				根拠		
				170学区×4回×15人		
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。				
					23	
				-	a	